



図書館 ☎ 69・3706

図書館 だより

おしえて！図書館

Q 子どもが喜ぶお弁当の作り方が載っている本はありませんか。

A お弁当のレシピ本は、2階の軽読書コーナーにありますよ。人気のキャラクター弁当の本もありますので、参考に見てください。お弁当、喜んでもらえるといいですね。



アキノ イチゴ
**akinoichigo の簡単！
絵本のおべんとう**

稲熊由夏／著
大和書房

Q 今度、子どもと一緒にカメを飼うことにしました。世話の仕方を調べたいのだけど…

A カメの飼い方の本ですね。児童室の写真やイラストがたくさん使われているこちらの本はいかがでしょう。カメの種類別にどれくらいの大きさになるのか、必要な道具や注意点なども紹介されていますよ。小さなお子様には、大人の方が一緒に読んであげるといいでしょう。

お店などで見かける小さなカメが、思いのほか長生きで、大きくなる種類ということもあります。飼う前に一度調べて、大切にお世話してあげてくださいね。



カメ
たのしい飼いか育て方

えら たつ お
江良達雄／著
新星出版社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

金魚の奥深さ

■タカアシガニ

世界一大きくなるカニ「タカシガニ」は、どここの水族館でも大人気の生物です。竹島水族館では形原や西浦の「凄腕深海漁師さん」たちの絶大な協力により毎年多くのタカアシガニがやってきます。他の地域ではなかなか手に入らないカニなので、全国の水族館はすぐく欲しがり、竹島水族館は水族館界のタカアシガニ展示供給基地となっています。よその水族館から運るタカアシガニが竹島水族館から

やってきたものである確率が高いです。外国にはいないカニなので時には飛行機でヨーロッパの水族館へ輸送されることもあります。

■「オバケが採れたぞ！」

タカアシガニが水族館にやってくるシーズンは真冬です。飼育員は半ベソ状態で凍える寒さの中心に暴れるタカアシガニを市場の始まる夜中～早朝の時間に漁師さんから受け取ります。これが嬉しいやら寒いやら眠たいやら…。年に一回か二回、通称「オバケ」と言われる脚を広げて3メートル



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎ 68・2059

ル級の超巨大なものがやってきます。この時は漁師さんも興奮して「オバケが採れた！22時帰港！」とすぐに連絡をくれます。我々はすぐにトラックに積んだタンクに水をはり、港へ出かけます。

■船長も興奮！

漁師さんたちは3泊4日ほどの漁を終え疲れ切っていますが、いつも笑顔で我々を迎えてくれます。甲板には巨大ガニだけのために特設イケスを作ってくれ、大事に持って来てくれます。3人がかりで輸送トラックへと運びます。運転席から船長さんが嬉しそうに「どーだ！デカイだろ！運ぶ時に脚を折るなよ！慎重に運べよ！」などと自慢顔で言っています。はけータイで写真を撮っています。

この船長さんの協力なしには巨大ガニの展示はできません。「おい水族館！持ってけ！」と、おみやげに採れたて食用お魚もどつさりくれたりするので嬉しい限り。慎重に水族館の水槽へ入れると1週間ほどエサを食べるようになります。漁師さんの協力が無くなると全国の水族館の魚の半分はいなくなると思われま



真夜中に3人がかりで慎重に巨大タカアシガニを水槽へと運びます。